

KOCHI TECHNICAL HIGH SCHOOL

会報

No.55号 平成28年2月



高知県立高知工業高等学校同窓会

目次

平成28年度同窓会総会のご案内・参加申し込み

ご挨拶 1

同窓会会長・校長・副校長

卒業半世紀 4

卒業四半世紀 11

支部便り 12

平成28年度開校記念ゴルフ 18

『工業ハ富国ノ基』読書感想文 20

母校だより 21

進路指導部より 21

進学指導部より 23

部活動の成績 24

本部より 25

高知県立高知工業高等学校同窓会会則 28

個人情報保護に関する方針 30

広告要領

続三本の矢

同窓会会長 包國 勝（昭和39年機械科卒）

第三次安倍改造内閣は、一億総活躍社会の実現に向け、強い経済、子育て支援、社会保障の「新三本の矢を放つ」とした内閣の基本方針を決めスタートしました。基本方針では経済最優先で運営に当たり、戦後最大のGNPの実現を掲げ、「経済の好循環」を継続。「目に見える地方創生」の推進。「誰もが結婚や出産の希望をかなえる社会」を創る。「社会保障制度改革や介護施設の整備」を進め「介護離職ゼロ」を目指すとしている。目標達成の年限はかなり遠いところに設定しているが、幅広い年齢層で構成する同窓会組織として、数字が躍るだけの政策ではなく、しっかりとした成果を期待したいところです。昨年度は同窓会の取り組みとして三つの目標（三本の矢）を立てました。

具体的には青年部の立ち上げで組織活動の若返りを図るとともに、各支部との連携を深め、総会など各行事への積極的な参加を呼びかける。

健全運営については、終身会員の拡大や、企業広告を利用することで安定した収入を図り、効果的な組織の運営を進める。

組織の共有化については、できるだけ多くの会員の方に情報が提供できるよう努力することでした。

今年も「続三本の矢」を掲げたのは昨年の目標をさらに充実させる為です。

青年部の立ち上げと新支部（仮称物部川支部）は発足の準備ができましたので、28年度中に立ち上げます。27年度総会は初めて4月29日（昭和の日）に実施し、270名を超える会員の方に参加していただき盛大に開催できました。

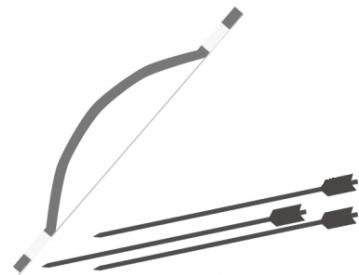
本校開校記念日である5月4日については、学校側の全面協力を得、5月1日に開校記念講演会を開催することができ、生徒たちと共に開校記念日の意義を学習しました。

この開校記念講演会を定例化することで、開校記念日の目的は達成できると確信し、28年度同窓会総会も4月29日（金）（昭和の日）に実施します。

ホームページの充実には相当の時間を費やし、簡素で使いやすいホームページを開設しました。特徴としては、同窓会本部並びに各支部が主催する総会などの本部発信情報の他に、各支部やクラブが自由に書き込むことのできる独自のページを開設しております。これで各支部はもちろんクラブ単位での管理投稿ができること、会員個人よりの投稿もできる構成にしました。多くの方に閲覧と活用をして頂きたいと存じます。なお今後も工夫しながら充実した情報提供手段として改良していきます。

組織の健全運営については、終身会員の拡大を図ることや、企業広告を利用することで安定した収入を確保し、効果的な支出計画を立てていきます。各支部総会に参加する若い会員（新成人会員等）の参加会費を本部負担とするなど、組織活性化の援助を継続していきます。

まだまだ課題も山積しておりますが、今後とも会員の皆様のお知恵を頂き、開かれた同窓会として発展していきますよう、ご協力とご支援を宜しくお願いし、ご挨拶とします。



ご挨拶（校長）

校長 横畑 健（昭和53年情報技術科卒）

同窓生の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じ上げます。また、日ごろから本校の教育活動の充実・発展のためご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

同窓生の皆様がそれぞれの地域・職場でご活躍されながら、母校に対しても気に掛けていただきありがたく感謝しております。

生徒たちの日頃の様子、特に学校行事や各部活動の活躍状況、進路状況（就職・進学）など、また、昨年度から取組を始めました、高知工科大学との連携事業であるイノベーションKTと名付けた「探求型学習」の様子も逐次ホームページに掲載しておりますので是非ご覧ください。

さて、本年度も同窓会とも関係の深い行事などがいくつか行われています。その一部とはなりますがご紹介させていただきます。

創設者の縁による早稲田大学理工学術院との関わりにつきましては、本年度も昨年に引き続き教員を1年間派遣し、研究活動に専念させることができています。

さらに、本年度は5月1日開校記念行事として理工学術院教授 柴山知也先生に來校いただき、地震防災関係のご講演をいただきました。

これまで開校記念行事が定例化されておらず在校生の開校記念日に対する意識が希薄となっていることなどから、同窓会とも協議し在校生の開校記念日に対する意識を高め、意義深いものとするため同窓生や一般の方も参加できる記念行事を共同開催することとなり実現したものです。

講師・講演内容は創設者の工業教育に対する高い理念に基づきほぼ同時期に開設された早稲田大学の先生方に工学に関する内容をご講演いただければより意義深いものになると考え、理工学術院長にご相談し実現したものです。

来年度以降も様々な工学的な分野の講演をいただく行事として定例化してまいりたいと考えております。

また、昭和48年機械科を卒業後東洋工業(株)（現マツダ(株)）でロータリーエンジンの開発や新型ロードスターの開発主査を務められた、山本修弘氏に在校生にご講演をいただきました。これは、山本氏のモノ造りにかける情熱や経験を次の世代に伝える機会を持ってないか。そのような企画をこれから進めていくスタートとして母校である高知工業が最もふさわしいのではないかというとの思いからマツダ(株)様から直接ご提案をいただき、実現したものです。

さらに、10月29日には昭和41年電気科を卒業されNHK総合技術研究所所長などを務められた、谷岡健吉氏の講演が「高知ものづくり総合技術展」の会場で行われ、特別の計らいで本校1年生全員がお話を聞かせていただきました。

このように、創設者から続くものづくりや人づくりの精神は、連綿と受け継がれ幾多の人材が輩出されて来たことを、あらためて実感し、各分野での一流の工業技術、技能などを様々な形で母校に還元いただけていることに感謝するとともに、高知工業を誇りにも思うところです。学校を預かる者として、諸先輩方に続く将来のスペシャリストの育成につとめ、高知県の、さらに日本の中核を担う工業高校として全国に誇れ、生徒たちが自信をもてる専門高校を目指してまいります。

今後とも同窓生の皆様には更なるご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、同窓生の皆様の益々のご活躍とご健勝をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。



ご挨拶（副校長）

副校長 山本 泰史

同窓会の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のことと存じます。また、日頃より本校の教育活動へのご理解とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

私は、本年度副校長として赴任してまいりました山本泰史（やまもとやすし）と申します。出身は四万十市、専門教科は理科（物理）です。市内の大規模校での勤務は、随分久しぶりで、本年度、創立103年目を迎えた、歴史と伝統のある高知工業高等学校で勤務できることに、喜びと責任の重さを感じております。

また、工業高校での勤務は、臨時教員時代に少しあるだけで、特色ある7つの専門科を有する本校での勤務にあたり、横畑校長をはじめ、松本教頭、山崎教頭から、工業教育やものづくりに関するさまざまな内容を教えていただき、また、全職員から実際の取組その他多くのことを学びながら勤務させていただいています。

包國勝同窓会長をはじめ同窓会の皆様には、4月当初より、開校記念行事や模擬面接指導など、様々な場面で大変お世話になっています。

また、同窓会総会、役員会、大阪支部や幡多支部の総会などにも参加させていただきました。その際にも、同窓生の皆様からの、母校への熱い思いや、教育活動の充実、後輩の進路保障、部活動などへの強い期待を感じたことでした。

教育活動では、本校は昨年度から、高知工科大学や企業その他の関係機関と連携して、イノベーションKTと銘打った探究型学習を取り入れ、生徒に自ら力（自ら学び、考え、行動できる力）を身につけることを目的に取り組んでおり、その成果が多くの場面で見え始めています。

就職試験直前の9月5日（土）には、今年も就職希望の3年生に対して、多くの同窓生の方々にご協力をいただき、面接指導を実施しました。お陰様で11月中旬には就職希望者全員が内定をいただき、15年連続で就職率100%を達成しています。誠にありがとうございました。今後も後輩の進路実現に向けて、ご指導・ご支援

のほど宜しくお願い申し上げます。

今年度は、文化祭を10月31日（土）と11月1日（日）に「ようこそ工業フェスティバル」をテーマに開催しました。各科が工夫を凝らし、ものづくりの体験ができる催しを多く取り入れ、工業高校らしい内容が一層充実したものとなりました。生徒会もスタンプラリーなど新しい催しに取り組み、来場者数は二日間で約2000名と大盛況で、生徒たちは終了後に心地良い達成感を味わっていたようです。

部活動も、監督やコーチ、保護者からは勿論、同窓会の皆様からも陰日向に支えられ、日々熱心に活動しています。その中で野球部は第68回秋季四国地区高等学校野球高知大会において、32年ぶりにBEST4に進出しています。あと一歩で四国大会出場は逃しましたが、同窓会の皆様のご期待に応えられる日も遠くないと信じています。また、陸上部は第66回全国高等学校駅伝競走大会高知県予選会で優勝し、12月20日（日）に京都で行われた全国大会に7年ぶりの出場を果たしています。結果は、全国59チーム中55位ではありましたが、次につながる立派な走りでした。都大路を力走する母校の後輩に、同窓会の皆様からも力強い応援を沢山いただき、本当にありがとうございました。

本校はこれからも、皆様が築いてくださった歴史と伝統を守りながら挑戦を続け、社会に貢献できる人材を育ててまいります。

最後になりましたが、同窓会の皆様には、引き続き母校へのご支援・ご協力をお願い申し上げますとともに、皆様の益々のご活躍とご健勝を祈念して挨拶とさせていただきます。



卒業半世紀 (昭和40年3月卒)

タービンと共に40年

佐藤 寛 (昭和40年機械科卒)

「すまん、わしゃー佐藤やけんど、おんしゃあ誰やったぞねや」。昭和40年卒業の我々の半世紀お祝い会が、4月29日「ザ クラウンパレス 新阪急高知」で開催された。「そうじゃねや、〇〇やったねや」とお互い、半世紀ぶりの再会を喜び合う。一目で判る昔の顔の男もいるし、冒頭のように聞かんと判らん男もいる。ハゲもいれば、白髪もいる。腹の出た男もいる。お互い半世紀を生きてきて、それぞれ苦労もあったはず。こうして再会出来た事は本当にうれしいことである。卒業アルバムの顔写真を見ながら、亡くなったという男も何人もいた。誠に残念なことである。時の経過を感じざるを得ない。

昭和40年機械科を卒業して三菱重工に入社した。兵庫県高砂市の高砂工場であった。高砂？それどこや？と思ったことだった。設計を希望して、タービン設計課に配属になった。タービン設計課は発電所に納める蒸気タービンを設計する部門である。初任給は16800円であった。見習い期間が1年間あって、約半年間は練習用の図面を書いたり、本を読んだり、眠たくなったらブラブラと工場の中を見学したりと、のんびりの半年間であったのがなつかしい。発電所の見学にも行った。関西電力姫路火力発電所で当時国内最大級の蒸気タービンを見学した。325000kwのタービンであった。これ1台で兵庫県の1/4の一般家庭の電気を賄うことが出来ると聞いて驚いた。こんな大きなプラントの設計の一端に加わることが出来ることに気持ちが引き締まる思いであった。今では設備の容量が大きくなって100万kw級の蒸気タービンが作られている。

私が入社した丁度その頃から、原子力発電所が建設されるようになった。昭和45年8月8日関西電力美浜原子力発電所から、当時大阪千里で開催されていた日本万国博覧会に初めて送電され、万博会場に「本日初めて原子力の電気が万博会場に送電されてきました」と電光掲示板に表示された。設計の一端に加わった者として感慨深く、記憶に残る大きな事柄であった。その後他メーカーも含めて原子力発電所はどんどん

建設され、今では全国に54基の原子力タービンが設置されている。

平成23年3月11日の東日本大震災に伴う東京電力福島第一発電所の事故により、その後国内の原子力発電所は全て停止となり、平成27年8月九州電力川内発電所1号機のみが再稼働された状況にある。自分が原子力タービンの一端に加わっていた頃は、こんな事態は勿論想像も及ばぬことであったが、こんな惨事を目の当たりにすると、原子力は今の時点では人類の知恵では禦しきれないエネルギーであると思うようになった。従って今は将来に備えて、しっかりと安全に使える技術の研究を進めていく時期ではないかと思っている。

その後、タービン本体の設計に携わっていた「タービン設計」から「プラント設計」に替わって火力発電所のプラント全体の設計に携わった。初めて担当したプラントが九州電力川内火力発電所50万kwの発電プラントであった。今ではもう無くなったが、夜行列車の「ブルトレ」で川内を往復した。往きは「ブルトレ」の中で翌日の打ち合わせの予習をし、帰りの「ブルトレ」ではビール、つまみを買って同僚の皆さんと酒盛りであった。プラントが初めて運転開始した時には、現場事務所で関係者が乾杯。自分が担当したプラントが無事完成した達成感に、たる酒が五臓六腑に沁みわたる思いであった。

転勤も無く、ここ高砂工場で定年を迎えた。家は隣町加古川市に住んで、もう50年。高知で過ごした18年を遥かに超えた。それでも生まれ育った高知はやっぱり日本一のところである。時々高知に帰って土佐弁を聞くとなんだかホットする。

最後に龍馬の句を挙げて半世紀の回顧を終わります。

丸くとも ひと角あれや人心

あまりまるきは 転びやすきぞ

土佐のいごっそうも少し残しつつ、元気な毎日を送りたいと思っている。

高知工業高等学校の益々のご発展を期待して止みません。

卒業50年 皆様に感謝です

今西 俊彦（昭和40年電気科卒）

私の卒業時の日本は高度成長に向け一直線の時代
3年で給料が倍、夢の途中変更もOKでした
変化は激しかったけど面白く楽しい50年でした

・研究所の仕事 S40～S48（1965～1973）

就職試験（5月）が早く、研修制度が魅力で立石電機（オムロン）に入社。京都中央研究所電子制御課に配属されました。社長は創業者で、日本のオートメーション時代到来を予測し、センサや制御機器の商品開発で注目されている会社でした。社憲は「我々の働きで、我々の生活を向上し、より良い社会をつくりましょう」行動指針は「機械で出来る事は機械に任せ、人間はより創造的な仕事をしよう」斬新でしょう。入社時は始業30分前から掃除。最初の仕事は商品の温度テスト。ドライアイスで低温、ヒーターで高温。当時回路に使う素子の変化は激しく、新技術習得は大変で失敗も多々ありました。半年後、先輩が設計した装置を大手工場に納入、現場体験開始。昼夜逆の勤務が懐かしいです。

S44年シーケンス回路をプログラム（従来は配線）で組むPLCの開発に参加。

会社は制御技術を活かし社会システム（駅の自動改札機、銀行業務の自動化）部門に進出。転属辞令で銀行のCD（自動支払機）担当に。この頃から設計を任せられ試行錯誤の連続でした。NHKのプロジェクトXでのカード読取技術はCDも同じで、懐かしく見た事でした。S48年、会社は全国に拠点開設を決定。高知営業所を希望し営業職に。研究所の8年間は高卒のハンディを感じる事無く先輩の指導で技術習得と物造りの面白さを学ぶ事が出来ました。

・営業職とマーケティング S48～H12（1973～2000）

会社事情で高知には帰れず、営業スタートは高松（営）からでした。

お客様は電力会社・クレーンや制御盤メーカー、製造業の電気係が主でした。

営業では色々と問題が起こります。受電設備の継電器誤作動で製造ラインが停止、商品が作れず数億円の損害賠償請求が！協議過程で円形脱毛症も経験。結果、万が一の対策が出来てなかったと、お客様が不備を認めて下さり少額の賠償で決着し、事なきを得た事も。誠実さとコミュニケーションの大切さを学びました。オイルショック後、高知（営）は不採算で閉鎖。高知での営業は幻に！

会社は営業力強化の研修開始し提案力重視へシフト。この営業教育が私の営業原点です。研修指導員となり、仲間と議論し研修内容を現場や代理店に落としフォロー。工場の自動化が格段に進んだ事例や代理店の顧客数や商談数が増え、業績も上がりました。5年経ち広島県福山

に転勤。この地域は工作機械・製鉄所・造船所・電機・ポンプ・印刷機械・半導体等が多く、業界毎売れる商品が違うので業界勉強に力を入れました。7年後工作機械マーケットマネージャーとして大阪の事業本部に単身赴任。業務は全国の工作機械メーカーを訪問し、お客様のニーズを聞き商品に反映させる物。又、海外の展示会をお客様の幹部と視察。海外の技術情報収集とお客様との研修旅行は大きな財産になりました。

2年後、営業復帰。管理職テスト（営業力勉強会が役立ちました）を経て京都、滋賀、大阪営業所長を任せられ、「業績第一」と「人が財産」を実践。本社のお膝元で、偶に社長からお客様への訪問依頼があり報告書（A4、1枚）を提出。後の懇親会では祇園にも、有難い事でしたな。

次の辞令は何と大阪事業所総務！営業には自信があり、いやいや総務へ！

・総務 オムロン退職 念願の高知での営業 H12～H23（2000～2012）

総務業務は、環境教育とISO1900の認証取得、事業所移転、社員への人権教育、心の問題等々。人事業務は専任職女性の採用と教育。心がけた事は社員がお客様。現場と社員を知る事を総務社員に徹底。この時期、高知県からの依頼で企業研修生（先生）受入を実現。順風で来たオムロンも2002年5月に初の希望退職者募集。指名退職者が出ない様に気を付けました。募集に目処が付いた頃中四国支店長から高知に代理店を出す計画があり港産業に推薦したとの事。定年後は帰省予定と何よりも「故郷で営業をやりたい」の想いが強く反対するカミさんを説得し10月退社。翌年3月に港産業に入社。4月南国オフィスパークに高知営業所を開設。オムロンで学んだ「ビジョン」を策定し高知（営）のあるべき姿を描き数字目標・人員・注力客を決めP-D-C-Aを回しました。総務業務経験（特に経営者には）も活かしました。又、高知工業高卒を活用し先輩、同期から多大な支援を頂きました。

2013年春退職。ビジョンはほぼ達成。10年間の高知での営業を終了。港の2014年度は年商約4億（開設時6000万）、社員も3名。卒業半世紀を振り返ればサイコーの人生でした。高知にUターンして強く感じます。自分の意志でない転属も有りましたが、前向きに取組みました。何処かで見えてくれる人がいました。本当に皆様に感謝・感謝です。

今後は学友と楽しく遊び、趣味を続け、ボランティアで社会貢献を・・・。

高校生活3年間と卒業50年を振り返って

浜田(旧北村) 倭子 (昭和40年工業化学科卒)

平成27年新春「今年は卒業半世紀やき、集まってよ」と工業化学科の世話人山本八満夫さんに声をかけていただいていたにも関わらず、その同窓会も欠席した私に会報の原稿依頼が届き、少し戸惑っておりました。とはいえ、せっかく機会をいただいたので学校生活3年間とその後の50年を振り返ってみようと思います。

県外への就職に有利らしいという以外にさしたる志望動機もないまま工業化学科に入学した私は、なんとか学校になじもうともがいていました。

その頃、創立50周年の行事が行われ、記念式典の日、1年女子は本会場ではなく、校舎サイドの受付(案内)を手伝うようにと指示されました。「エッ!なんで?」とスツキリしない思いのまま貼り付けで荷物番をし、その日校内でなに行われたのかわからないままに終わったことをほろ苦く思い出します。その時の気持ちが100周年の記念行事に出席するのをためらわせていたのかもしれない。

そんなスタートをきった高校生活は、その年齢らしい迷いや失敗もありながら、先生方やクラスメートに支えられ、今でも懐かしさいっばいに思い出される日々でした。特に同学年の女子はそれぞれ大人の方々と、少しトガっていた私は有難く甘えさせてもらっていたのだと思います。

実習棟や教室でのイタズラなど、やんちゃな生徒が多かった我がクラスは、先生方にご迷惑をかけ通しだったと、今更ながら思います。そして、同窓会館の職員の方や食堂・売店で働いていた方々、図書館の司書さんに3年間本当に暖かく見守っていただいていたと感謝の気持ちでいっぱいです。

やっと卒業して入社した職場を4年間で退職してしまい、後輩の就職に悪影響があったのではないかと申し訳なく思っています。直後、高知県内に就職していた亡夫(同級生)も退職し、その二人が結婚するというので、担任の先

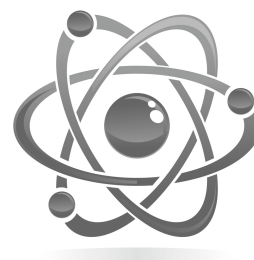
生は内心おおいに心配をされたことでしょう。

帰高して再就職した高知市役所では、最初の2年間ほど、これは新人の仕事だからと言われる、ドキドキしながら同窓会費を集めに役所内を回り、多くの先輩がおられるのを知りました。この『人を知る』ことが後々大変ありがたいことだったとわかりました。

事務職で入った私には工業化学科で学んだことを生かす機会はほとんどなく、土木科や建築科、電気科卒業の方々を見るにつけ、残念に思ったこともありましたが、いくつかの課を異動するうち、測ってみることに、組み立ててみることに、試しにやってみることに、知らず知らずに工業校生でのベースが役立っていることに気づきました。長く務めた図書館では、科学関係の子どもの本を選ぶとき、元素の周期表やイオン化傾向表をみるとつい「かそうかなまああてに…」と昔覚えた語呂がでて、つい笑ってしまうこともありました。

その図書館を退職して7年、今はボランティアとして学校図書館のお手伝いをさせていただいています。

卒業後50年を経て縁は薄くなりつつありますが、亡夫そして息子も通った高知工業高校をこれからも見守り続けていきたいと思っております。



卒業半世紀を振り返って

猪野 邦英（昭和40年土木科卒）

早いもので、高知工業高校を卒業して50年になりました。先日は同窓会で卒業半世紀のお祝いをしていただきまして大変感謝しております。卒業以来50年ぶりに会った同級生も何人かおありまして、懐かしく楽しい時間を過ごさせていただきました。同窓会関係者の皆様には大変お世話になり有難うございました。

私は卒業後、東京の航空写真測量の会社に入社して設計部に配属となりました。当時は高速道路時代の幕開けで、昭和40年7月に名神高速道路全線が開通しました。入社してすぐに東名高速道路の高架橋の配筋図を書いたことが懐かしく思い出されます。その後、北陸自動車道の路線選定の業務に従事することになって、道路線形の分野に進むことになりました。同社で4年半お世話になって、当時の上司が設計会社を設立する時に新会社に入社しました。入社当時は7名の社員でしたが、高速道路整備が東北道、中央道、中国道、山陽道等全国的に展開されて、会社の規模も順調に伸びてゆきました。平成10年頃がピークで社員数70名の設計会社になっておりましたが、その後の公共投資の削減、高速道路網の整備がほぼ完了したこともあって、会社の規模を半分ほどに縮小しております。私の業務経歴は、道路線形の分野が多く特にインターチェンジの計画に携わってきました。昭和62年に、高知自動車道の高知インターチェンジと伊野インターチェンジの計画に従事できて、少しは故郷に役立つ仕事が出来たのではと思っています。また、平成4年に、第二東名高速道路のインターチェンジの計画を経験論文として、技術士（道路計画）の資格を取得しました。このように道路計画の分野に進んだ事は、振り返って見ますと高知工業の卒業論文で、石川先生の指導の基に道路計画、特にクロソイド曲線をテーマに勉強したことで興味を持ち、社会的にも名神高速道路の開通もあって、これからの仕事だと感じたように思います。

私は、平成17年に二代目社長に就任しまし

た。道路公団の民営化、公共工事の削減等、設計会社にとって大変苦しい時でしたが会社の存続を思って6年間努めました。現在は、技術顧問として比較的楽な立場で勤務しております。これからは、この50年間で建設してきた道路構造物のメンテナンスの時代です。あと数年ですが少しでも技術的に役立てればと思っています。

最後に高知工業高校および同窓会の御発展、そして関係者の皆様の御健勝と御多幸を心よりお祈りいたします。



卒業半世紀を振り返る 「我が人生」

楠瀬 昌男（昭和40年建築科卒）

卒業後半世紀を振り返り、今想う事。

昭和40年卒建築科は入学時、45名のクラスメイトがおりました。しかし、無事卒業出来た者は37名になっていました。現在、7名の同窓とは音信不通で連絡が取れません。

1名は20才を迎えた頃、現場にて不慮の事故の為、帰らぬ人となりました。優秀で、負けず嫌いの良い奴でした。残念です。

私は3年生の頃、執行部の一員として生徒会活動を行っていました。学校の体育祭を控えている頃、恥ずかしながら1週間の特別休暇（停学）をいただき、家にて謹慎処分を受けておりました。その間、友人の佐々木生男が授業ノートを持参し、学校帰りに私の家に寄って家庭教師をしてくれた事に感謝しています。

後日、担任（坂本聡平先生）が家庭訪問の際、明日親同伴にて学校に出向くようの指示を受け、校長室（戸梶徳喜校長）へ向かいました。生活指導を受けた件をお詫び申し上げ、心静かにお言葉をいただいておりますところ、校長先生より「ところで、体育祭の競技種目内容について説明する者がいないので説明に回れ」（3年生の競技内容プログラムは一部私が起案、立案）という指示を受け、各教室を回る事になりました。

おかげで1週間の謹慎期限は、行事に支障が出るという事で3日短縮になり、無事体育祭も終了する事が出来ました。

私も3年間、落第することもなく無事卒業し、就職進学を迎える時期となりました。親は大学進学を望みましたが、4年間授業料を支払って勉強するよりも、勉強させてもらって授業料を頂ける方が少しでも早く技術が身につくと考え、昭和41年、柳生建設（現大旺・新洋）に入社。

施工屋としての道を選びました。

高度成長期の折、休みは盆と正月だけ。良く働いたものです。

今では考えられない状況でした。

敗戦国日本は、米国に勤労意欲を削がれ、労働時間を制限。日本政府も又、「ゆとり教育」の名の元、子供達を駄目にしてしまいました。「教育と訓練」これが私の座右の銘です。精神論では技術力、人間形成は育たないと言われる昨今、「耐えがたきを耐え、忍びがたきを忍ぶ」不屈の精神を忘れてはなりません。

施工に携わった建築物は作品として、いつまでも残ります。その場所に足を運べば、着工から竣工完成までの状況が色々と思い出されます。施工した作品に自信を持ち「これは俺が担当した物件だ」と、妻や子供にも見せました。しかし、耐震基準等の見直しによりその建物のほとんどが解体され、新しく建て直されています。

私の青春のシンボルは次々に消えてゆき、技術も新しくなりました。

一抹の淋しさを覚えます。

コンクリート打設はタワーを建立、人力、ネコにて運搬打設。コンクリートポンプ車が配備された時、これは便利な機械ができたものだと。しかし、品質の確保が難しくなった様に思います。技術力が大切になっていく事を痛感しました。

T定規 → ドラフター → パソコン（CAD）

ソロバン計算尺 → 電卓 → パソコン

今日、使用道具は進歩したが、人間性、技術力は怠りだしたと感じます。

寄らば大樹の陰なれど流れに添えない我身は、30年間勤め上げた大旺建設を退社し、平成7年12月に港湾業者の四国土建(株)に移り建築部門を担当しました。しかし平成19年会社倒産。

亡くなって初めてわかる親の有難さ。いや、会社かな。

お世話になった方々にも心配していただきました。有難いです。

その後は仕事も依頼され現在、(株)ネクスト・オカモト建築部顧問として勤務しております。

建築工事受注についても厳しい予算の中、瘦せ馬に荷が勝ちながらも、老体にムチを打ち頑張っております。

過去、某政党の公共事業は罰悪であるかの如き政策により今や技術員不足、職人不足、後継者不足（育てていない）。

日本政府も戦後70年、日本の経済を支えてきた業種は何か（建設業である事は間違い無い）、再考すべきです。

少子高齢化の日本、団塊世代の者の年金全額が給付される時代になりました。

国の財政難に伴い、国を助ける為にも高齢者介護に頼ることなく元気で、いつまでも達者で居れば良いと祈ります。

私の大先輩、小林正典氏（S31年度建築科卒）は未だに現役にて、工事管理に従事しております。

全てに於いて私共のお手本・鏡です。

妻からも小林さんを見習えと。

「あなた達はまだ、ヒヨコよ！」と言われていきます。

平成27年4月28日、通常総会にて昭和40年建築科卒15名が久しぶりに会いました。50年ぶりに会った者、姿・形は変わったけれど、目を閉じ声を聴くと、その当時の面影が浮かんできます。

何も変わっていない。

残り少ない人生、明日を夢見て

同窓生諸君、頑張りましょう。

高知工業高等学校の生徒諸君。

教育と訓練により、明日の日本を担う人材と成られる事、期待しております。

卒業半世紀「遊びの」回顧

山本 和夫（昭和40年工芸科卒）

高知工業を卒業して、早50年が過ぎ、先人が良く言う「光陰矢の如く」を痛感しております。その間数多くの思い出が有りますが、「遊び」を中心に述べさせていただきます。少年時代は、山や川を駆け回り自然の中で遊びを覚え、全ての原点になりました。その後、中学の美術の先生の影響で映画に興味を覚え、多くの映画を観ました。先生曰く「良い映画は、主人公が、どうやって生計をたてているかが必ず描かれている、それを見出さなくては」と、教えてくれました。中高では、今でも交流の続く数多くの友人を得る事が出来、本当に有意義な19年間でした。

昭和40年、高度成長の時代で、私も当然の様に県外へ出ました。大阪に3ヶ月寄り道をして、東京大森に着きました。8月の暑い時でしたが、空気も澄んでおり、すぐに気に入りました。霞ヶ関ビルの建設中で、ボーリングブームの走りでした。亡国の遊びと言われ、また室内のゲームだったので性分に合わず、やはり映画館に通いました。反戦映画のニューシネマが流行し、自由を求める若者の姿がクロウズアップされ「イージーライダー」「卒業」「明日に向かって撃て」など、本当に共感し感動しました。

高校1年の夏休み、友人と二人で四国一周を計画し、予定は7日間、各自3,000円飯盒と米3升持参で、野宿6泊で達成しました。出発時、父が松山と高松の戦友の連絡先の書いたメモを渡してくれましたが、開ける事なく数多くの人にお世話になり、貴重な体験をさせて貰いました。四国一周をしたY君と、東京に居た時期に今度は、九州を一周しました。夏に出て帰って来た時は、秋になっていました。ヒッチハイクは自分への戒めとして、交通費にはお金を掛けない事と決めていました。

その後は、1人で時間を作っては、北海道・能登・信州・最後は、シベリア経由で白夜のフィンランドをヒッチハイクで回りました。モスクワの赤の広場の写真が一枚有るだけですが、一番美しかった場所は、私の脳裏に今でも焼きついています。今になって思うには、良く

お金と時間が有ったものだと。道中どれだけに方々にお世話になった事か、言いつくせません。

25歳の時、帰郷しました。時代が良かったと思います。3社からオファーを受けてインテリアデザイン事務所へ入りました。2年半在籍して、後に西武百貨店になる会社へ入りました。その時の履歴書の趣味の欄に、酒、映画、旅と書いた事を今でも記憶しています。東京 高知のデザイン事務所の経験が活かされ又、顧客 良き先輩にも恵まれ仕事に没頭しました。

30歳を過ぎた頃、ゴルフブームが来て、1年後輩の機械科の山崎君に基礎から、徹底的に習いました。個人競技が性に合っていたのか、努力した事が数字に表れるスポーツで本当に夢中に成り「家内、子供を質に入れてゴルフをしている」と良く仲間に言われました。多くのライバルにも恵まれ、片手シングルになり楽しいクラブライフも味わいました。私は「守破離」が座右の銘です。剣道用語で成長過程を表現していて、仕事にも通じる事だと思います。

49歳の時、西武撤退の話が出て、高校で学んだ原点の家具製造業の工場に入り、今年で21年になります。今では、ゴルフ熱もすっかり下がり、春は山菜採り、夏秋には近くの仁淀川で、地元の友人と伝統の漁具を再生し、後世に残す努力をしながら、登り子（ゴリ）やエビを取り、古くから伝わる料理法で貴重な命を頂いています。冬には、11年前に許可を取った散弾銃で害鳥駆除を兼ねてヒヨドリを狩り、シビエとして仲間に分け合って食べて貰っています。

高知工業の自由な伝統と、遊びを含めた多くの人との出会いが無かったら、今の私はどうなっていたかと思います。64歳の時、ステージ4の肺ガンが見つかりました。5年後の生存率は3.4%と言われましたが、今だに健在です。秘訣はクヨクヨせず、病気と友達に成る事だと思います。会社には、私を含めて男性が7名です。その内4名迄が工芸科の出身です。別に私が雇い入れた訳でもないのに自慢のスタッフです。

そろそろ、終活の準備も必要かと思いますが、元気な内は遊びが優先しそうです。

「定時制に学んで50年」

尾原 明廣（昭和40年定時制機械科卒）

2015年4月28日、卒業50年（半世紀）を祝う会に同窓生3名と出席させていただきました。ありがとうございました。非常に感慨深く、改めて高校生時代を懐かしむ同窓会を有志で計画しています。

私は、昭和40年3月機械科を卒業しました。全科合計108名の卒業生の内、機械科は57名でした。卒業後50年経ちましたが、50年は長くもあり短くも感じるこの頃です。私は、昭和32年安芸市古井中学校を卒業後、南国市稲生の農家に住み込み昼は農業に従事、夜は高知農業南海分校で4年間学びました。昭和36年に高知農業南海分校を卒業し4月より鈴江農機（南国市）に入社しました。

当時は、農業の機械化が始まる時代でもあり沢山の中卒の仲間が養成工として働きながら、夜は高知工業の定時制に通っていました。私もこの会社（鈴江農機）で働く為には、機械の勉強が必要と感じ、昭和37年4月、高知工業機械科に編入し、二度目の高校生として改めて学ぶことを始めました。私の高知工業時代は、昼間は鈴江農機で農業機械の生産に従事しながら、午後5時に仕事を終えた後は電車で棧橋の高知工業に通う毎日でした。学ぶことで仕事にも生かせたと新しい仲間も生まれ、部活では柔道に挑戦するなど苦労はありましたが充実した仕事と学生生活を送ることができました。

改めて振り返りますと、高知工業定時制が昭和24年にスタートし28年に始めて48名の卒業生が出てから（この65年間で4300余人が卒業）。多くの卒業生・仲間は、全国津々浦々でものづくり、技術者として、職場の中心となって高度成長期を担ってきたと思います。現在も尚、現役で頑張っている方や職場を離れてからも地域での防災やまちづくりのリーダー、ボランティアとして多くの仲間が元気に頑張っています。定時制で学んだものづくり技術や学ぶ力、人としての生きる力は、困難な中で粘り強く多くの事に挑戦し仲間と良好な関係を築き、困難を乗

り越える力として更に成長していくと思います。

ただ私個人としては、せっかく高知工業を卒業したにもかかわらず、鈴江農機を退職し機械と直接関係のない仕事を38年間続けてきました。61歳での定年後は、健康マラソン参加や高齢者が元気に過ごせる社会づくりのボランティア活動などを元気に続けています。これらの活力の源は、定時制時代が基礎となっていると思っています。定時制振興会にも参加させていただき学校との新しい縁もでき元気をもらっています。

今、日本はノーベル賞で沸いています。医学生理学賞を受賞した大村智氏（北里大特別荣誉教授）は、58年山梨大を卒業すると教師として東京都の都立墨田工業高校定時制に着任しています。生徒は、昼間工場で働いた後登校し熱心に勉強し、中には手に油が付いたままの生徒もいたようです。このような頑張る高校生の姿を見た大村先生は、『自分も頑張らなければ』と一念発起、夜は教師を続けながら昼は東京理科大学の大学院に通い分析科学を学んだといひます。そこで研究の面白さにのめり込んだようです（2015年10月6日高知新聞）。この受賞は、私たち定時制で学ぶ者への大きな激励のメッセージとなりました。現在の日本は、発達した資本主義、多様でグローバルな時代であり、私たちの生きてきた時代とは違う視点が求められているかもしれませんが、定時制教育の持っている知恵と力を今の時代に生かし、高知工業の定時制に学んでよかったと思える学校になってくださることを期待しています。



卒業四半世紀 (平成2年3月卒)

「卒業四半世紀を迎えて」

西村 一明 (平成2年情報技術科卒)

先日の高知工業高等学校同窓会において「卒業四半世紀」として出席させて頂き、ありがとうございました。「卒業四半世紀」の世話人を打診頂きました時には「早や25年も経ったのか」と月日の経過の早さに驚いたのと、感慨深いものがありました。

事前の世話人会を含め、高校生の当時は会話もしたことの無かった同級生と40歳を過ぎた「おじさん」として当時の話や、近況の話など本当に楽しい時間を過ごさせて頂きました。また、当日の同窓会総会においては、卒業四半世紀生を代表して挨拶をさせて頂きましたが、生来人前で挨拶など本当に苦手な私に任せた世話人の方々の無謀さには、驚くばかりでした。

高校生のときは、百石町に下宿させて頂いていましたので、色々な地方から同じように親元を離れた友人達に出会い、中間テスト・期末テスト等のテスト勉強をするフリをして夜遅く(朝早く?)まで思春期のおしゃべりをしたものでした。下宿のおばちゃんには随分怒られ、迷惑をかけたことでした。そういえば、下宿の周りも大きな道路が通り、当時とは様変わりしました。やっぱり25年経ったのですね。

卒業後、就職した会社ではコンピュータ機器を扱う仕事をさせて頂きました。何度か高知工業高校にも訪問しましたし、他の工業高校でも懐かしい先生にお会いすることもありました。当初は高松に就職したのですが、3年で高知勤務となり高知へ戻りました。その後結婚して潮江地区に住み、約8年前に転職で潮江地区にある会社に就職するなど、余程母校の近くにいたのか、案外近くで生活しています。現在は妻

と3人の子供の恵まれ、潮江地区で「日立」の産業機器や、空調機器・電動工具を販売する会社で勤務しています。在学中にもっとまじめ勉強しておけばよかったと反省する瞬間がありますよ。この会社にも、関連会社や、取引先にも多くの尊敬すべき先輩方がいらっしゃいます。この多くの諸先輩方の功績に恥じないよう、また、これまで頂いたお心遣いに感謝し、これからは後輩たちに同じように思ってもらえるよう精進しなければ、と思うところです。

最後になりますが、高知工業高等学校の益々のご発展と、同窓会の皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げます。



東京支部（桂工会）

支部長 谷岡 健吉（昭和41年電気科卒）

平成27年10月中旬時点での東京支部（桂工会）の活動状況、年度内計画等についてご報告いたします。

4月29日の本部同窓会総会（ザ クラウンパレス新阪急高知）には岩崎友太郎事務局長が出席しました。東京から参加する立場としては、従来の5月4日の開催日に比べて航空券やホテルの確保が少し容易になったと感じています。

定例の支部役員会は6月12日に開催し、総会の簡素化や経費節減策などについての議論を行い、当面懇親会でのアトラクションは実施しない方向としました。

東京支部においても若手の同窓会参加が重要な課題となっています。このため5月16日と8月30日に、仁井田英夫副会長が中心となって平成27年卒業生らとの面談、昼食会を開催し、若手に総会・懇親会への出席を呼びかけました。

10月31日に芝弥生会館で開催する総会・懇親会には、来賓として母校より、現在、早稲田大学留学中の上岡真己先生、本部同窓会からは包國勝会長、徳弘昭宏副会長がご出席くださる予定です。また、高知県東京事務所には勝賀瀬淳所長の来賓としてのご出席をお願いしてあります。

これまで総会・懇親会会場として長年使用してきた芝弥生会館が来年7月に営業終了になるとの情報が入ってきたことから急遽今後の新たな会場を検討、調査しました。その結果、平成28年度の総会・懇親会は、交通の利便性にも優れた銀座一丁目の高知県アンテナショップまるごと高知の2階にある「TOSA DINING おきゃく」で10月15日の日中に開催することが仮決定されました。

今年度の高知県人会関係では11月13日の関東高知県人大懇親会に桂工会として仁井田英夫副会長が出席します。

以上のほか今後の予定としては、平成28年2月の本部同窓会入会式への出席、また3月に副会長以上による役員会を開催して27年度の東京支部桂工会の活動をすべて終えることとなります。



静岡支部（静桂会）

支部長 小川 純一（昭和37年機械科卒）

最近は海外からの観光客が多くなり、静岡空港では国内路線よりも中国路線の方が多くなってきました。路線バスに乗るグループや自転車で茶畑の中を走るカップルなどが見かけられるようになりました。新東名高速道路は開通以前から大震災の救援活動に活用され、今では周辺の地域に工業団地や物流基地などが開発されています。これからは同窓生の皆さんも静岡県で活躍されることが多くなると期待しています。今年も支部活動に尽力してまいりますので宜しくお願いします。

平成26年度活動報告

●11月16日

静岡支部〔静桂会〕総会開催（静岡市クーポール会館）
包國同窓会会長、横畑校長も参加して頂き、
賑やかな総会となりました。



●1月下旬

「卒業生に贈る言葉」寄稿
（昭和35年機械科卒 日名子 靖宏氏）
「静桂会だより」発行
（平成18年から年1～2回発行）

●3月22日～24日

第33回全国高等学校男子ソフトボール選抜大会応援
（富士宮市）
ご父兄関係者と共に、準々決勝戦まで
母校を応援しました。



平成27年度活動報告

●4月29日

本部総会へ支部長が出席（クラウンパレス新阪急高知）

平成27年度活動予定

●11月15日（日）

静岡支部〔静桂会〕総会開催（静岡市クーポール会館）

東海支部（南風会）

支部長 松村 司郎（昭和36年電気科卒）

私ども東海支部に限らず、若手会員の支部総会出席者数が少ないことを懸念しています。

東海支部としては何とか支部総会の若返りができないかと策を練っているが、中々その効果が現れて来ませんでした。

本年度は年配の先輩から非難を浴びることを覚悟して、次の2つ秘策を練りました。

その一つはホテルや料亭など改まった場所でなく、カジュアルに楽しめる海辺のBBQを目玉に支部総会を企画してみました。この作戦は大当たりで最近に見ない若手の参加がありました。先輩からも賑やかな楽しい支部総会を評価いただき安堵いたしました。

二つ目の策は、例年同窓会長や校長にご出席を頂いていますが、今年は新卒者が卒業後お会いしたい先生の希望をとり、3名の先生にご参加いただき新卒者と歓談いただきました。

来年度は若手だけの支部同窓会を組織化することを試みたいと考えています。



平成27年活動状況

- 5月17日 新卒者食事会 甘太郎にて 新卒者5名、支部3役
- 5月31日 第13回 K&K ゴルフコンペ 関ヶ原C.Cにて 山崎博士、金田耕喜各氏参加
- 6月27日 東海支部（南風会）総会 BLUE TABLEにて
同窓会本部3名、小松工業高校中京支部3名、新卒者8名、総勢34名
- 7月5日 小松工業高校中京支部総会 中日パレスにて
松村司郎、竹島朗、福谷龍幸、松本幸平の各氏出席

平成27年活動計画

- 10月30日 第14回 K&K ゴルフコンペ 関ヶ原C.C

大阪支部（鯨工会）

支部長 堀田 秀雄（昭和43年土木科卒業）

平成27年度活動状況（平成27年4月～平成28年3月まで）

- 4月29日 本部総会 堀田支部長、大崎副会長出席
- 5月7日 役員会開催
- 6月3日 役員会開催
- 6月13日 役員会開催
- 6月20日 鯨工会総会開催（ホテルメトロ t h e 21）
- 10月2日 役員会開催
- 11月11日 鯨工会・第38回ゴルフコンペ開催
- 平成28年1月 拡大役員会開催予定
- 2月 本年度卒業生・保護者との懇親会出席予定
- 3月 役員会開催予定
- 3月 鯨工会・第39回ゴルフコンペ開催予定

安芸支部（芸工会）

事務局長 黒岩 良行（昭和40年電気科卒業）

安芸支部（芸工会）も平成18年8月に発足し、10年の節目の年を迎える事となりました。今年も9月19日包國會長、松本教頭、澤事務局長、矢野事務局次長ご出席の元、賑やかに支部総会を開催しました。総会では、人生の歩みと共に培った蘊蓄を語って頂く時間を設ける事としていますが、今回は岡村迪夫先輩（昭和20年応用化学卒）から、「心の力と意思力の発現……理想的人生のあり方について」お話を聞かせて頂きました。又、懇親会では10周年記念の福引大会を行うなど大いに盛り上がりを見せ、同窓の絆を深め合いました。

平成27年度活動状況

- 4月29日 本部総会出席
- 7月30日 役員会開催
- 9月19日 第10回芸工会
総会開催
- 10月 役員会開催予定
- 12月11日 忘年会開催予定



岡村迪夫先輩の蘊蓄
心の力と意思力の発現……理想的人生のあり方について

岡村先輩は、「中村天風」師の著書を基に実践哲学について、20年程勉強してこられました。今回は、その一部について話を頂きました。

- ・人間が元気に生きて行く上には、人間の精神生命と肉体生命に存在する生存法則（生き方）と生活法則（活かし方）を知らなければならない。人々は、生き方より活かし方を重視過ぎる傾向がある。また…云々……

◎ 興味のある方は、芸工会事務局まで連絡頂ければ、講演要旨をお届けします。



嶺北支部（吉野川会）

支部長 西村 行雄（昭和37年土木科卒）

きびしかった暑さも峠を越え、朝晩は肌寒くなりました。

同窓生の皆様方におかれましては、益々ご健勝の事とお喜び申し上げます。

本年は、台風で大雨となり甚大な被害があり被災された方々にお見舞い申し上げます。

日頃から、災害への関心を高めておかなければいけないと思わされた大雨でした。

先日、理事会を行い、本年の総会や清掃活動について話し合いをしました。

当同窓会で、カーブミラーの清掃から公園の清掃活動に変わり4年目になりますが、これからも続けていきたいと思っております。

わが同窓会では、より多くの同窓生に参加してもらえよう、頑張っていきたいと思っております。当地区の卒業生のご協力をよろしく申し上げます。

平成27年度活動報告及び予定

- 4月 本部 高知工業高等学校同窓会 出席
- 9月 支部 理事会
- 11月 支部 清掃活動及び同窓会総会



幡多支部（波多愛校会）

支部長 福田 充（昭和44年建築科卒）

本年度は支部役員改選の年であり、7月29日に行った総会において全員再任されました。支部活動の増員と活性化を図る為に直近の同窓会会員名簿により新卒者を中心に連絡を取りましたが、高知県が抱える問題と同様、地元にも一人も卒業生が残っていないことが分かりました。

幡多支部としてはこれから高齢化していく中で、地域に根ざしたOBとして地域の持続発展と雇用の創出を考えさせられた総会となりました。

来年の春には幡多のゴルフ場で親睦のゴルフ大会を開催すべく計画していますので、多くの方が参加されることを期待しております。





平成28年度 開校記念ゴルフ大会開催のお知らせ

ゴルフ部会幹事 大窪 和男（昭和48年電気科卒）

ゴルフ愛好家の皆様、平成27年度開校記念ゴルフにはたくさんのご参加をいただき有難うございました。平成27年度は、同窓会総会の日程が変更になったため、例年の日程を変更して、4月28日に開催しました。

初めての平日開催でしたが、多くのご参加をいただき、盛会になりましたこと感謝いたします。

28年度も同窓会総会は4月29日とのことですが、今回は若い方、教職員の参加も考え、4月23日（土曜日）の開催といたしました。

27年度にもまして、多くのご参加よろしく願いいたします。

高知県立高知工業高等学校

平成28年開校記念ゴルフ大会のご案内・申込書

主催 高知工業高等学校同窓会ゴルフ部会

記

平成28年度開校記念ゴルフ大会を下記の要領で開催することになりました。

ゴルフ愛好家の皆様の多数の参加をお待ちしております。

1. 日 時 平成28年4月23日（土曜日）
スタート8時00分の予定（若干の時間の変更はあります）
2. 場 所 土佐カントリークラブ 香南市夜須町手結山668 （TEL）0887-55-2131
3. 参加資格 同窓生 教職員 ご家族の方
4. 競技方法 18ホール ストロークプレイ HC ダブルペリア方式
5. 参加料 2,000円（プレー費は自己負担とする）
6. 入 賞 優勝～第10位・飛賞（10位以降）・ベストグロス賞・BB賞・ホテル賞・参加賞
7. 参加申込み・お問い合わせ
申込み・問い合わせ先 高知工業高等学校同窓会事務局
住 所 高知市棧橋通り2丁目11-6
TEL・FAX 088-831-4133
8. 申し込みは3月31日までにお願いいたします。（組合わせ表は4月10日ごろ発送予定です。）
※ 出来るだけ1組単位での申し込みお願いいたします。
申し込みは郵送・FAX・電話で受付いたします、必要事項のご記入、ご連絡よろしく
お願い申し上げます。
又、組合せ表は決定後、代表者に郵送させていただきます。

『工業ハ富国ノ基』読書感想文表彰

新入生には高校生活への展望を踏まえた、『工業ハ富国ノ基』の読書感想文を書いてもらっています。優秀作品は、7月16日の1学期終業式場で表彰を行いました。本年度の入賞した生徒さんは次の通りです。

- | | | |
|-------|---------------|----------------|
| ● 最優秀 | 門田 龍 (工業化学科) | |
| ● 優秀 | 藤原 龍 (機械科) | 野崎 龍 (電気科) |
| | 門田 光希 (情報技術科) | 藤原 龍 (土木科) |
| | 藤原 龍 (建築科) | 野崎 龍 (総合デザイン科) |

最優秀

高知工業高校での私の抱負

工業化学科 門田 龍

私は竹内綱先生・明太郎先生・強一郎先生のそれぞれが素晴らしい人格で、たくさんの業績を残した人物だと思います。その中でも、明太郎先生の小松鉄鋼所の経営の心得に共感しました。

例えば『事業の施設はすべからく無駄なきものに』は、勉強できる時間は計画的に無駄なくすることで勉強に努めようと思いました。『研究は一時も怠ってはならぬ』は、怠けたらいけないということだけでなく、分からないことは納得するまで勉強するという事に繋がります。『人の手を下さぬものを』は、自分にとって利益の少ないことや、人が嫌がることを進んでやることに意味があるのだと感じました。身近なことでは、部活での準備や片付けを積極的にすることだと思います。『儲けはその次でよい』は、すぐに結果が出なくても頑張っていれば必ず結果はついてくるということだと思います。

これらは後に明太郎先生が私立高知工業学校の卒業生への訓辞で語った内容に通じると思います。『青年時代には、困難で苦痛な仕事を選びなさい。心身の鍛練ができます。若い時に困難な仕事にあたるのは身を立てるのに必要です。なるべく実地作業につく方を選んで下さい。どこに行っても、役に立てる人になれると

思います。報酬は多いことを望む前に、まず勤勉努力をし、自己の努力が認められてきたら多くなります。』私はこの意見に賛成です。しんどい道だとは思いますが、このようなことを若いうちから経験しておくことで、今後困った時にもこのことが励みになり頑張れると思ったからです。私も、このような困難な選択を迫られた時には、つい楽な方を選びそうですが、そのような時にこの言葉を思い出して頑張りたいです。

竹内綱先生は、失敗や試練を乗り越え壮大な事業を成し遂げました。私は綱先生の素晴らしさは、人と人を結びつけることと、信じたことに積極的に挑戦していくバイタリティだと思います。

綱先生や明太郎先生が創立したこの高知工業高校で引き継がれた建学の精神のもと、学べる事がとても嬉しいです。『技術上の学問素養、実地上の手腕、その能力を発揮できる人格が備わっている』この言葉に恥ずかしくないように勉強し、自分に自信を持って色々なことに挑戦出来る人になりたいです。

母校だより

平成27年度の就職状況について

進路指導部長 藤岡 常幸

本校同窓生の皆様には日頃より大変お世話になっております。進路指導部より本年度の就職状況を途中経過ですが報告させていただきます。

本年度は127名の生徒が就職を希望しており、11/13日現在115名が内定をいただいております。内、公務員希望が15名です。民間企業につきましてはほぼ終了している状況です。

次に求人数ですが、今年は昨年に引き続き県内外ともに求人依頼は増加しております。特に県内企業からの求人依頼が大幅に増えており、製造業を始め土木・建設業など多業種にわたり求人依頼が発生しているのが特徴です。また、県外では関東地区の求人が特に増えているのが特徴です。ただ、限られた就職希望者の中ですべての求人依頼にお応えすることができなく大変心苦しい心境ではあります。今後、就職希望者の大幅な増加がない限りこの問題は解決しようがありません。

生徒は部活動や各科の先輩方とのつながりを重要視しており、これまで実績のある製造業を中心に各専門分野を生かした受験先を志向する傾向は続いております。結果、各企業でご活躍されている諸先輩方のお力添えや、また本校に対する期待度の現れもあり、ここ数年早い段階での内定をいただくことができております。あらためてお礼申し上げます。

生徒の就職先地域については以下のとおりです。今年の特徴としましては、愛知県を中心とした中部地区への内定者が増えたことです。トヨタ自動車を始め製鉄会社など大手企業が集中し生徒からは人気の地区となっております。逆に関東地区は昨年内定者が増えたにも関わらず、今年は一転数名の内定者にとどまっております。求人数が多い割に希望者が少なく苦慮しているところです。何れの地区でも卒業生の活躍により同窓会各支部活動の活性化が期待されます。

就職者の地域分類(過去5年間) ※平成27年11月13日現在

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
関東地区[人]	7	8	7	14	5
中部地区[人]	20	16	19	21	24
関西地区[人]	21	14	20	20	12
中国地区[人]	4	2	3	3	0
四国地区[人]	15	13	10	16	22
その他[人]	1	0	0	1	0
高知県内[人]	71(51%)	63(54%)	70(54%)	61(45%)	52
総計[人]	139	116	129	136	115

求人数の推移(過去5年間) ※平成27年11月13日現在

	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
求人総数[社]	371	389	410	524	591
県内求人数[社]	104	111	113	132	190
県外求人数[社]	267	278	297	392	401



本年度の就職先一覧です。各地区におけるご指導よろしくお願いたします。

※平成27年11月13日現在

地区		事業所名	科	
関東	東京都	(株)ディック電子	シ	
		日本道路(株)	ト	
	神奈川県	日本発条(株)	テ	
		JFEスチール(株)東日本製鉄所	カ	
千葉県	新日鐵住金(株)君津製鐵所	キ		
中部	愛知県	日本特殊陶業(株)小牧工場	キ	
		(株)ジェイテック(学園生)	キ	
		愛知製鋼(株)(技術学園生)	キ・キ	
		オークマ(株)	キ	
		(株)デンソー(高専生)	キ	
		(株)デンソー	テ	
		トヨタ自動車(株)(専門部生徒)	キ	
		トヨタ自動車(株)	ト	
		アイシン・エイ・ダブリュ(株)(高等技能学園生)	キ	
		アイシン・エイ・ダブリュ(株)	テ	
		大同特殊鋼(株)(技術学園生)	キ	
		(株)東海理化電機製作所(学園生)	キ	
		トヨタ紡織(株)(トヨタ紡織学園生)	テ	
		アイシン精機(株)(アイシン高等学園)	テ	
		中部電力(株)	テ	
		新日鐵住金(株)名古屋製鐵所	テ・カ・カ・カ	
		(株)豊田自動織機	ト	
		三菱電機(株)名古屋製作所	シ	
	黒金化成(株)知立工場	カ		
	三重県	本田技研工業(株)鈴鹿製作所	テ	
関西	京都府	日新電機(株)	シ	
		人見建設(株)	ケ	
	大阪府	(株)かんでんエンジニアリング	テ	
		内外電機(株)	テ	
		(株)きんでん	テ	
		(株)クボタ	シ	
		(株)ミック	カ	
		(株)日商機械	ト	
	大成化工(株)	シ		
	兵庫県	川崎重工業(株)	キ・シ	
川崎重工業(株)明石工場		テ		
和歌山県	新日鐵住金(株)和歌山製鐵所	テ・カ		
四国	香川県	今治造船(株)丸亀事業本部	キ	
		コマツ建機販売(株)四国カンパニー	キ	
		一般財団法人四国電気保安協会	テ	
		四電エンジニアリング(株)	テ	
		三菱マテリアル(株)直島製錬所	カ	
		三菱化学(株)坂出事業所	カ	
		協和化学工業(株)坂出工場	カ	
		(株)デンロコーポレーション丸亀工場	ト	
		西日本高速道路エンジニアリング四国(株)	ト	
		丸一鋼管(株)詫間工場	ケ	
		積和建設四国(株)	ケ	
		愛媛県	四国通建(株)	テ・テ・ト

地区		事業所名	科
四国	愛媛県	大王製紙(株)	シ・カ
		ダイオーミルサポート(株)	カ
		ダイオーロジスティクス(株)	カ
		日本郵便(株)郵便事業総本部四国支社	カ
徳島県	(株)大塚製菓工場	カ	
高知県	(株)ミロク製作所	キ	
	(株)SKK	キ	
	ヤンマー農機製造(株)高知工場	キ	
	(株)特殊製鋼所	キ	
	(株)山崎技研	キ	
	(株)泉井鉄工所	キ	
	兼松エンジニアリング(株)	キ・キ	
	アートコーポレーション(株)	キ	
	住友大阪セメント(株)高知工場	キ	
	(株)太陽	キ	
	トヨタカローラ高知(株)	キ	
	ツカサ重機(株)	テ	
	(株)南国ミロク	テ	
	(株)四電工高知支店	テ	
	四国電力(株)高知支店	テ	
	(株)高知クリエイト	テ	
	(株)中央精機	テ・シ	
	(株)中成	シ	
	ニッポン高度紙工業(株)	シ	
	三建設計(株)	シ	
	(株)トヨタレンタリース西四国	シ	
	高知太平洋鋳業(株)	カ	
	東洋電化工業(株)	カ・カ	
	東洋平成ポリマー(株)	カ	
	金星製紙(株)	カ・ケ・ソ	
	(株)晃立	ト	
	入交建設(株)	ト	
	福留開発(株)	ト	
	北村商事(株)	ト	
	(株)第二建設センター	ト	
	(株)第一コンサルタンツ	ト	
	大旺新洋(株)	ト・ケ・ケ	
	(株)技研製作所	ト	
(株)益岡工務店	ケ		
(株)岸之上工務店	ケ・ケ		
(株)平山	ケ		
(株)佐々木造園	ケ		
(株)高知ヤマザキ	ソ		
高知市役所初級事務	テ		
高知市役所初級土木	ト		
須崎市役所土木技術	ト		
高知市役所初級建築	ケ		

最近の進学状況について

進学指導部長 安芸 暢英

昨年度の具体的な進学状況は、大学59名（国公立29名〔静岡大学1名・高知大学3名・高知工科大学24名・尾道市立大学1名〕、私立大学30名）、高知高専1名、専門各種学校58名、短大・ポリテク等が11名でした。（別表「平成26年度卒業生科別進学者数」を参照下さい。）国公立大学の合格者数は昨年より6名増加となりました。高知工科大学は一昨年从高知県内高校枠を削減し、入試制度においても昨年从小論文が無くなり面接重視型に変わった中で、合格実績は昨年の20名から、24名へと数を伸ばし健闘してくれました。

このように昨年の進学実績も踏まえ、本校の最近の進学についてみると、例年のことですが卒業生の約半数が進学し、その約半数の60人前後が四年制大学へ進学している傾向があります。その中でも国公立大学への進学者数は30人前後と全国の他の工業高校に比べ多く、高い進学率になっています。中でも、地元の工業系大学である高知工科大学への進学者が多くを占めています。この結果は、高知県内高校枠を使用した推薦入試によるものです。また、他の国公立大学への進学は、専門学校枠のAO入試や推薦入試を使用することで実績を挙げています。

この状況の下、高知大学理学部は今年度より推薦Ⅰの枠を削減するようになっています。それは、数学受験枠が15名から13名に、理科受験枠が50名から45名に、そして本校から受験する数が一番多い情報受験枠が10名から9名に変更されます。このことや高知大学の学科変更などが、本校の高知工科大学の次に多い高知大学を志望する生徒たちにどのような影響をもたらすのか、危機感を持って生徒の指導にあたっている現状です。

また、全国的な流れとして大学入試改革が考えられている中、今年の8月の高大接続システム改革会議での検討案では、2020年度（現中学1年生から対象）から「大学入学希望者評価テスト（仮称）」として、思考力・判断力・表現力を中心に評価することで大学教育を受けるために必要な能力を測定することを目的としたテ

トの実施が検討されています。内容は、現行学習指導要領下では、「教科型」で出題し、試験の科目数は、現在実施されている大学入試センター試験より簡素化、出題内容は思考力・判断力・表現力等に関する判定機能を重視し、その中でも英語は四技能の評価を重視すると言われています。英語の「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」の四技能を測定する手段として、全大学で英語資格試験の活用が進む可能性があるという状況になっています。また、2019年度（現中学2年生から対象）から「高等学校基礎学力テスト（仮称）」も考えられています。それは、高校教育の質の確保・向上を目的として高校の指導改善に活用することやAO入試等で参考資料としても活用可能と言われています。

このように大学の学科変更や大学入試制度が大きく変貌をしようとしている中で、工業高校生徒の大学進学の手段がどのように変化していくのか注意してアンテナを張って情報を集めなくてはならない状況になっています。同窓生の皆様におかれましても、ご助言等ございましたらよろしくお願いいたします。

最後になりますが、同窓会の今後ますますのご発展と、同窓会各位のご活躍をご祈念申し上げます。

平成26年度卒業生科別進学者数

	機械	電気	情報	化学	土木	建築	総合	計
国公立大学	1	4	12	2	1	6	3	29
私立大学		4	2	6	4	12	2	30
公立短大								
私立短大			2				5	7
高専					1			1
ポリテク・他			1				1	2
職業訓練校				1				1
専門学校		7	8	6	8	8	19	56
各種学校			2					2
計	1	15	27	15	14	26	30	128

部活動の成績

◇全国大会出場

ソフトテニス部

- ・平成27年度全国高等学校総合体育大会ソフトテニス競技大会
平成27年7月28日～7月30日
奈良県立橿原公苑明日香庭球場

少林寺拳法部

- ・平成27年度全国高等学校総合体育大会少林寺拳法競技大会
平成27年7月31日～8月2日
兵庫県・兵庫県立武道館

◇四国大会出場

陸上競技部

- ・第68回四国高等学校陸上競技対校選手権大会
平成27年6月20日～22日
鳴門総合運動公園（鳴門・大塚スポーツパーク）・陸上競技場
- ・第63回四国陸上競技選手権大会兼第57回四国四県対抗陸上競技大会
平成27年8月29日、30日
香川県立丸亀競技場

男子バレーボール部

- ・第68回四国高等学校バレーボール選手権大会
平成27年6月19日～21日
鳴門大塚スポーツパーク アミノバリューホール

バスケットボール部

- ・第22回四国高等学校バスケットボール新人選手権大会
平成27年2月8日、9日
愛媛県
- ・第68回四国高等学校総合体育大会
平成27年6月19日～21日
高知県

ソフトテニス部

- ・四国大会、インターハイ（奈良県）出場

ソフトボール部

- ・第59回四国高等学校ソフトボール選手権大会
平成27年6月20日、21日
土器川運動公園（香川県丸亀市）
第三位

少林寺拳法部

- ・平成27年度第10回四国高等学校少林寺拳法選手権大会
平成27年6月20日、6月21日
徳島県うだつアリーナ
男子規定組演武の部 第二位

空手部

- ・四国大会出場
平成27年6月20日、21日
高松中央高校

相撲部

- ・第62回四国高等学校相撲選手権大会
体重別個人戦
平成27年6月21日
徳島県JAバンク蔵本公園相撲場

弓道部

- ・四国大会出場
平成27年6月20日、21日
愛媛県

登山部

- ・平成27年度四国高等学校登山選手権大会
平成27年6月19日～21日
仁淀川町名野川小幕营地 天狗高原

建築部

- ・平成27年度第11回高校生ものづくりコンテスト四国大会
四国工業教育研究会
平成27年6月20日、21日
香川県立坂出工業高等学校
建設系・木材加工部門 第四位

本部より

1. 事業計画・事業報告

月	日	事業内容
4	3	会計監査
	12	第1回常任役員会・理事会
	14	卒業半世紀世話人会
		卒業四半世紀世話人会
	28	開校ゴルフ大会
	29	総会(ザクラウンパレス新阪急高知)
6	13	奨学資金貸与募集(1年生)
	20	大阪支部(鯨工会)総会
	27	東海支部(南風会)総会
	28	第2回常任役員会
7	16	「工業ハ富国ノ基」読書感想文優秀作品表彰
	29	幡多支部(波多愛校会)総会
8	8	青年部設立打合せ
9	19	安芸支部(芸工会)総会
	26	バスケットボール部OB会総会

月	日	事業内容
10	31	東京支部(桂工会)総会
11	7	次年度卒業半世紀・四半世紀世話人会
	14	土木科同窓会
	15	静岡支部(静桂会)総会
	21	第3回常任役員会
	28	嶺北支部(吉野川会)総会
12	28	轟組高知工業OB会
1	16	物部川支部設立準備会
	17	青年部設立準備会
2	6	四電高知支部総会
	-	同窓会会報(第55号)発送 室戸支部(室戸鯨工会)
	18	同窓会入会式・各支部と生徒との懇談会
3	1	卒業生へ同窓会通信の配布

2. 平成27年・28年度役員

役職	卒年・科		氏名
名誉会長	昭和53	情報技術	横畑 健
会長	昭和39	機 械	包國 勝
副 会 長	昭和38	土 木	徳弘 昭宏
	昭和45	土 木	右城 猛
	昭和46	電 気	吉永 洋一
	昭和50	工 芸	手島 健司
	昭和53	電 気	池田 栄作
	昭和56	建 築	筒井 眞二
	昭和59	土 木	宮崎 功司
	昭和60	機 械	北川 雅規
			山本 泰史
		平成 2	建 築
		山崎 貴雄	
監 事	昭和51	電 気	藤原 善行
	昭和54	機 械	岡崎 良介
事務局 長	昭和39	電 気	澤 俊雄
事務局次長 (会計担当)	昭和46	電 気	矢野 元朗

3. 同窓会支部組織

同 窓 会 組 織			
名 称	役 職	氏 名 (卒年科)	連 絡 先
同 窓 会 本 部	会 長 事務局長	包國 勝 (昭39キ) 澤 俊雄 (昭39テ)	本部直通 ☎088-831-4133 kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp
茨 城 支 部 (梅 工 会)	支 部 長 事務局長	高木 澄夫 (昭45キ) 中野 正文 (昭53キ)	
東 京 支 部 (桂 工 会)	支 部 長 事務局長	谷岡 健吉 (昭41テ) 岩崎友太郎 (昭40コ)	
静 岡 支 部 (静 桂 会)	支 部 長 事務局長	小川 純一 (昭37キ) 片岡 結 (昭42テ)	
東 海 支 部 (南 風 会)	支 部 長 事務局長	松村 司郎 (昭36テ) 金田 耕喜 (昭48テ)	
大 阪 支 部 (鯨 工 会)	支 部 長 事務局長	堀田 秀雄 (昭43ト) 杉山 康弘 (昭61ケ)	
室 戸 支 部 (室戸鯨工会)	支 部 長 事務局長	山本 總 (昭54ト) 前田 康司 (平3カ)	
安 芸 支 部 (芸 工 会)	支 部 長 事務局長	高橋 雄 (昭32カ) 黒岩 良行 (昭40テ)	
嶺 北 支 部 (吉野川会)	支 部 長 事務局長	西村 行雄 (昭37ト) 川村 博彦 (昭51キ)	
幡 多 支 部 (波多愛校会)	支 部 長 事務局長	福田 充 (昭44ケ) 小笠原 武 (昭52テ)	

4. 同窓会ホームページの紹介

本年度の総会において、同窓会のホームページ開設が承認されました。

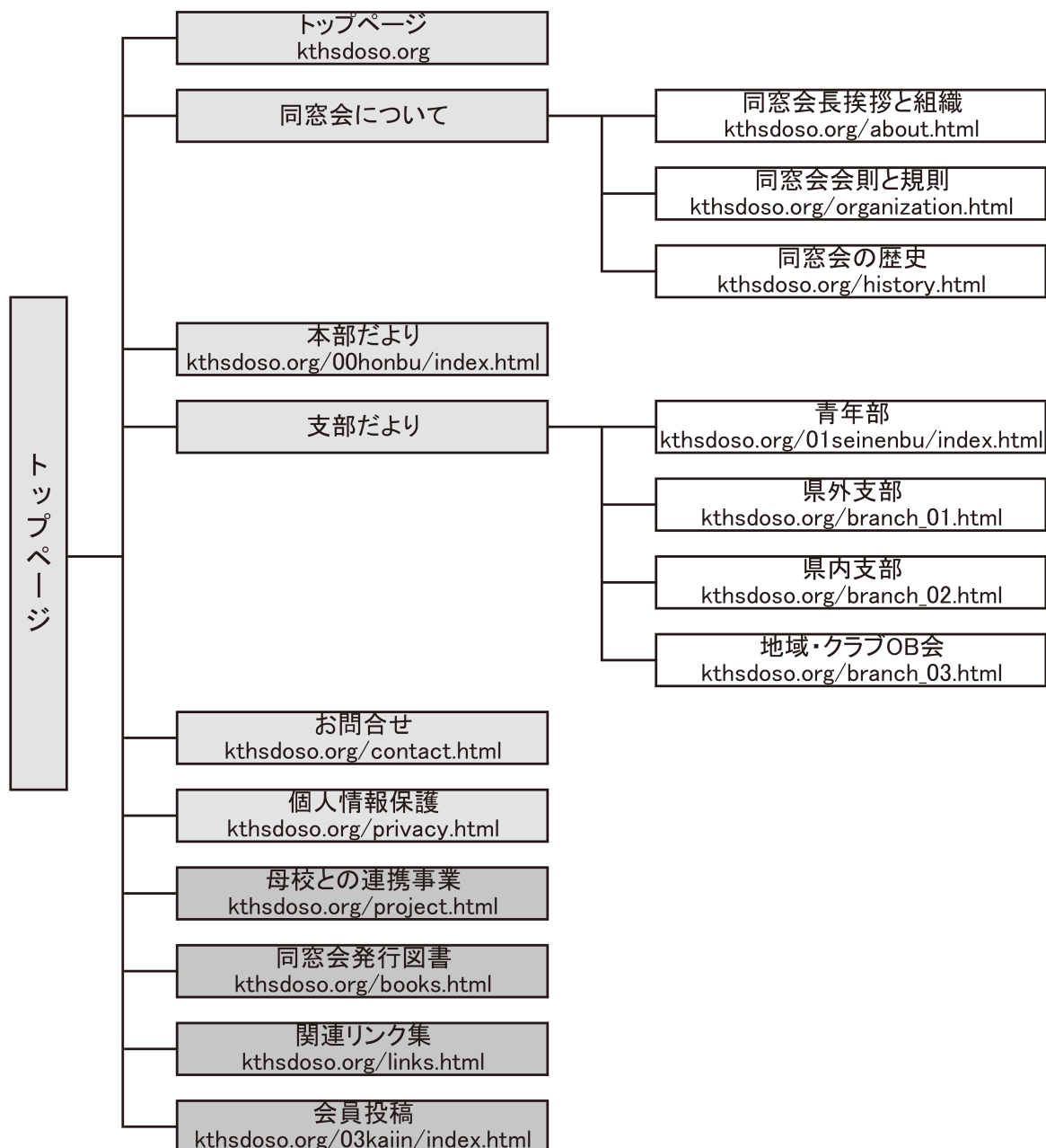
本部や各支部が主催する総会。また、個々に開催されるOB会やクラス会等々の最新情報を同窓生の皆様へお知らせしています。

同窓生相互のコミュニケーションの場としてご活用ください。

各種のお問合せも受け付けています。



閲覧の際には、下記の構成図をご参照ください。



6. 業務時間について

本部にご用の方は、下記時間帯にお願いします。

11：30～15：30 毎週（水曜日・休日・祝祭日を除く）

高知県立高知工業高等学校同窓会会則

第1章 総 則

(名 称)

第1条 本会は高知県立高知工業高等学校同窓会と称する。

(目 的)

第2条 本会は、会員相互の親睦と向上を図ると共に、母校の隆盛・発展に寄与することを目的とする。

(本 部)

第3条 本会は、本部を高知市棧橋通2丁目11番6号高知県立高知工業高等学校におく。

第2章 事 業

(事 業)

第4条 本会は、第2条の目的を達成するため、次の事業を行う。

1. 会員の連携と親睦を深めるための事業
2. 母校の事業支援
3. 会員名簿の作成
4. 会報の発行
5. その他本会の目的達成に必要な諸事業

第3章 組 織

(会 員)

第5条 本会は、次の会員をもって組織する。

1. 正会員
 - (イ) 高知工業学校を卒業した者
 - (ロ) 高知工業高等学校を卒業した者
 - (ハ) 高知市立高知工芸学校を卒業した者
 - (ニ) 高知市立工芸高等学校を卒業した者
 - (ホ) 高知工業学校工場見習修了者及び技術員養成所修了者
 - (ヘ) (イ)、(ロ)に在籍した者で役員の推薦により会長が承認した者
2. 特別会員
 - (イ) 本校に特別縁故のある人で役員の推薦により会長が承認した者

(役 員)

第6条 本会は、次の役員をおく。

1. 会 長 1名
2. 副会長 若干名
3. 事務局長 1名
4. 事務局次長(会計担当) 1名
5. 監 事 2名
6. 理 事 若干名

(役員の仕事)

第7条 本会の役員は次の仕事を負う。

1. 会長は、常任役員会を招集し、会務を統括し本会を代表する。
2. 副会長は会長を補佐し、会長不在若しくは事故ある時は、その仕事を代行する。
3. 事務局長は、事務全般を統括する。
4. 事務局次長は会計事務を担当する。
5. 監事は、会計を監査する。
6. 理事は理事会に出席し、常任役員会の諮問事項を審議する。

(役員を選出)

第8条 本会の役員は、次のように選出する。

1. 会長、副会長及び監事は理事会において正会員より選出し、総会の承認を得る。

2. 理事は、正会員の中から会長が委嘱する。
3. 事務局長、事務局次長は、正会員の中から会長が指名する。
4. 母校校長を名誉会長に推薦する。
5. 母校副校長、教頭を副会長に推薦する。

第9条 本会に顧問及び相談役をおくことができる。
顧問及び相談役は、常任役員会または理事会の推薦により会長が委嘱する。

(役員任期)

第10条 事務局長、事務局次長以外の役員の任期は、2年とする。ただし、再任を妨げない。

第4章 会 議

(会 議)

第11条 本会の会議は、総会・常任役員会・理事会とする。

(総 会)

第12条 総会は、本会の最高議決機関で、会長がこれを招集する。

(常任役員会)

第13条 常任役員会は、会長・名誉会長・副会長・事務局長・事務局次長・監事で構成する。
常任役員会は、本会の執行機関で、その任務は次の通りとする。

1. 総会で議決された事項の執行
2. 総会に提出する予算の編成、事業計画の立案、報告書の作成
3. 予算の補正並びに決算書の作成
4. 本会則の改正案の作成
5. その他必要と認める事項

(理事会)

第14条 理事会の構成は、顧問、相談役、理事、常任役員とする。
理事会は会長が招集し、常任役員会の諮問事項を審議する。

(会議の議決)

第15条 議決は出席会員の過半数による。

(支 部)

第16条 本会には、会員の多い地域・職域に支部を置くことができる。
支部には支部長をおき、支部長は会長の委嘱により理事となる。

第5章 会 計

(運営経費)

第17条 本会の運営経費は、入会金・会費・寄付及びその他の収入をもってこれに充てる。

(会計年度)

第18条 本会の会計年度は、毎年4月1日に始まり翌年3月31日をもって終わる。

第6章 会則の改正

(会則の改正)

第19条 会則の改正は総会において、出席者の3分の2以上の賛成を得なければならない。

(付 則)

昭和29年11月25日改正
昭和43年5月4日改正
昭和44年5月8日改正
平成3年5月4日改正
平成7年5月3日改正
平成23年5月4日改正
平成26年5月4日改正

高知県立高知工業高等学校同窓会個人情報保護に関する方針

高知県立高知工業高等学校同窓会（以下「同窓会」といいます）は、個人情報の重要性を認め、以下の方針に基づき個人情報の保護に努めます。

同窓会は、会則の第2条「本会は会員の親和並びに母校の隆盛を図ることを目的とする。」の目的を達成するための事業を運営していくにあたり、「個人情報の保護に関する法律」を遵守するため、以下の「個人情報の保護に関する基本方針」を制定し、会員の個人情報の取り扱いと保護について、日本国における法令等に従った個人情報の管理、利用を行ないます。

会員の皆さまの個人情報の取扱いについて

ご提供頂きました個人情報に関しましては、同窓会事業にのみ使用させていただきます。

会員名簿への非掲載をご希望の場合は、その旨を同窓会事務局までお知らせください。

もしご連絡が無い場合は、個人情報の名簿掲載をご承諾頂いたものとして従来通りの名簿掲載をさせていただきます。

個人情報の保護に関する基本方針

同窓会は、個人情報保護の重要性を認識し、「個人情報の保護に関する法律」及びその他の関連法令等を遵守して、会員に関わる個人情報の保護に努めるとともに、適正且つ公正な同窓会の事業活動を推進します。

1. 個人情報の取得

個人情報の取得にあたっては、適法かつ公正な手段で行います。

2. 個人情報の利用目的

個人情報は、同窓会会則の第2条に掲げる目的を達成するために、会員名簿の作成・発行、会報及び高知県立高知工業高等学校からの通信文書の送付など適正かつ公正な同窓会の運営に役立つ目的のみに利用します。

3. 第三者への情報提供

会員の同意を得ることなく会員以外の第三者に個人情報を提供しません。ただし、利用目的を確認し許容の範囲内で、高知県立高知工業高等学校、同窓会各支部、同窓会役員等に、会員名簿記載事項等の個人情報を提供することがあります。また、会員名簿印刷等の業務遂行上、必要な場合は個人情報の保全管理を外部に委託することがあります。

4. 個人情報の管理

保有または新たに取得する個人情報は、これを正確かつ最新の状態に保ち、不正アクセス・紛失・破壊・改ざんまたは漏洩などのないよう適切な管理を実施します。なお、業務遂行上、個人情報の保全管理を外部に委託する場合は、契約書を締結して同様に適切な管理を実施します。

5. 保有個人情報の開示、訂正、利用停止等

本会は、本人が自己の個人情報について、開示・訂正・利用停止・消去等を求める権利を有していることを認識し、会員よりこれらの要求がある場合には、法令に従い速やかに対応します。ただし、会員名簿への非掲載希望については、希望時期により対応できないことがあります。その場合、次の名簿より非掲載とします。

6. 法令等の遵守・個人情報の保護に関する基本方針の改定

個人情報に関して適用される法令等を遵守するとともに、法令等の改正に従って、この個人情報の保護に関する基本方針を改定するなど、継続的な改善・向上に努めます。

平成19年6月12日
高知県立高知工業高等学校同窓会

■個人情報についての問合せ先

Tel：088-831-4133／Fax：088-831-4133
e-mail：kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp
高知県立高知工業高等学校同窓会



高知県立高知工業高等学校同窓会

〒780-8010 高知県高知市棧橋通2丁目11-6
tel 088-831-4133 fax 088-831-4133

公式ホームページをご活用ください

[http:// kthsdoso.org/](http://kthsdoso.org/)

E-mail: kths2004dousoukai@leaf.ocn.ne.jp